

最下流のオトリ店、熊野水産の裏にある沈下橋から川の中をのぞき込むと、多くのアユが確認できた



2013年9月25日、滝尻隧道の上流、戸土・捨石の瀬で午後2時ごろからサオをだす



左岸に渡り右岸側の大きめの石周りにオトリを沈めると20cmクラスの元気な野アユが掛かった

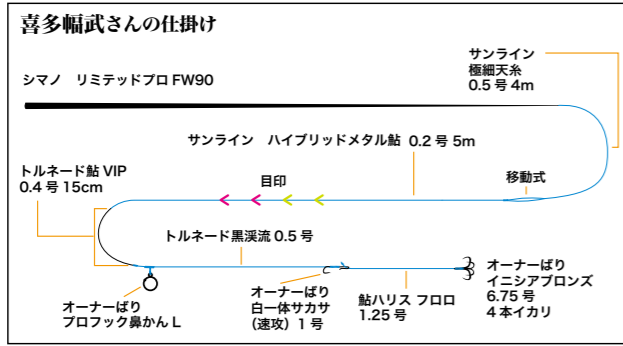
増水からの回復力は県下一！流れ緩やかな安全河川



渇水時は泳がせ群れアユ攻略

果無山脈を源に南紀白浜町の富田で太平洋へ注ぐ富田川は総延長41kmの2級河川。和歌山県内の支流を除いたアユ釣り河川のなかで唯一ダムがない川として有名だ。全体的に石が小さく流れが緩やかで豊富な釣り場が多い。天然遊上り豊富な姿が多く見られたが、近年は遡上時期の渇水による瀬切れのため稚アユが逃れず、下流域に溜まってしまふことが多い。おかげで友釣り好調とはいえない状況が続いており人気は低迷。周辺の日高川、日置川、熊野川方面に釣りする人が多い。しかし釣り人が少ない分、何日間も誰も釣りをしていないというサオ抜けポイントが多くなり、穴場的な釣り場も少なくない。

果無山脈を源に南紀白浜町の富田で太平洋へ注ぐ富田川は総延長41kmの2級河川。和歌山県内の支流を除いたアユ釣り河川のなかで唯一ダムがない川として有名だ。全体的に石が小さく流れが緩やかで豊富な釣り場が多い。天然遊上り豊富な姿が多く見られたが、近年は遡上時期の渇水による瀬切れのため稚アユが逃れず、下流域に溜まってしまふことが多い。おかげで友釣り好調とはいえない状況が続いており人気は低迷。周辺の日高川、日置川、熊野川方面に釣りする人が多い。しかし釣り人が少ない分、何日間も誰も釣りをしていないというサオ抜けポイントが多くなり、穴場的な釣り場も少なくない。



場としてみることもできる。実際に2013年シーズンは1日で30尾、40尾という釣果を上げた釣り人も多くおられたようだ。そんな富田川の最大の特徴は増水後の回復の早さ。台風や梅雨の大雨で川が赤い状態になっても2日もすれば薄い状態になる。また戻り友釣りが可能になる。周辺河川で友釣りが不可能な場合でも、富田川だけは大丈夫ということがよくある。ただ、その反面、渇水状態になるのが早いのも事実だ。そんな理由もあり富田川は泳がせ釣りが主力の河川。平均してフラットな地形のため浅いトロ場やチャラ瀬が多く釣りやすいが、水量が少ないイコール川幅が狭いという点でもあるので、アユを驚かせないようにする工夫が必要だ。高水時は早いテンポでナワバリを持った黄色いアユの群れが釣れるが、渇水時はどろどろと群れアユを攻略しにくい。常に好釣果を伸ばすことが難しい。常に好釣果に恵まれている人の多くは、群れアユが溜まるトロ場に座り込み、静かに泳がせ釣りをしている。

アユのサイズは意外とよく、13年シーズン中盤の平均サイズが20cm。9月に入ると26、27cmの良型がよく釣れていたため、今後は数釣りよりも型ねらいで釣行する河川という位置づけになっていくのかもしれない。

この富田川も11年の台風12号にともなう和歌山県下の大水害で多大な被害を受け、特に滝尻地区では崩れた土砂が川をせき止める、いわゆる土砂ダムで大洪水が発生し、2階まで浸かってしまった家屋も多くあった。今なお復旧工事が数箇所続いており、少しの雨でも川にニゴリが入るので、釣行の際には各オトリ店や漁協で川の状況を確認していただきたい。

とん だ が わ 富田川

かつて友釣り競技会の全国大会も開かれたこともある数釣り河川だったが近年は遡上期の瀬切れで人も少なめ。しかし裏を返せばその分、サオ抜けポイントが多いワケで、ならう価値は大いにアリ！

解説◎喜多幅 武

1 上福定橋

富源橋

富田川の友釣りでは最上流部にあたるエリア。掲載しているポイント写真は撮影の数日前に大雨が降り、水位は平水より約30cm高。平水時は写真に写っているような白泡ができる瀬は少ないので釣りやすい。上流部のため石は比較的大きめだが底まで大石で詰まったポイントも少なく、小石のなかに大石が点在する感じ。写真のような高水時は流れのなかにオトリを入れると一発で掛かってくることも多いので、テンポよく釣っていくと良質がそろえる。富田川の間でも良質のアユが釣れるため、足繁く通う地元釣人も多い。全体に川幅が狭く小場所が多い。なれば次のポイントへと移動し足で稼ぐのが基本だが、大きめの石があるためナワバリ意識が強いアユが多く、そこにアユがいればすぐに反応があるはず。反応が出たポイントでは少し粘り気味に釣るのがよいだろう。

中流域にくらべて大量のアユがストックされているポイントがなく、1カ所は何尾もという感じではないので、1日のうち何回かのポイント移動は避けられない。しかし多くのポイントには入川道が設けられているので河原に下りるのは困難ではない。アマゴ釣りのように瀬を釣りがるのもOKだ。9月上旬までがならぬ。



13 流れが緩やかで釣りやすいポイント。変化が少ないので全体を泳がせてねらう



14 左岸の瀬が本命ポイント。2013年の解禁日に好釣果が出た



8 小畑橋の上下流にある瀬は右岸側が本命だが、案外左岸側でも掛かるので手前から丁寧に釣ること



4 河原の石は大きいけど底石は小さめ。砂底の場所もあるので道路上から確認後に入川したい



3 下流側(写真の右側)の瀬が本命ポイント。右岸立ちで左岸のヘチがよく掛かるが、ポイント上の木の枝に注意



9 砂利底のなかに大石が点在している。写真⑩の瀬尻右岸側は増水後にアカが残りがやすい



5 川の近くまで車を乗り入れられる楽なポイント。泳がせ釣りで広範囲をねらうとよい



6 濁水時は流れが非常に細くなり釣りにくいがサオ抜けになっていることが多いのでねらってみる価値あり



2 両岸が岩盤に囲まれた荒瀬。川幅が狭く流れも絞り込まれている。岩盤場からの釣りになるので足下に注意



1 上福定橋の上流部。良質、良型のアユを求めて地元のファンが通い詰めるポイント



12 数、型ともにねらえる好ポイント。川幅が狭く釣りにくいが小場所を丁寧に探ると好釣果にありつける



10 濁水時は流れが非常に細くなり釣りにくいがサオ抜けになっていることが多いのでねらってみる価値あり

Guide

- 管轄漁協 富田川漁業協同組合 ☎ 0739-47-0710
- 解禁日 6月の第1日曜日
- 入漁料 年券1万円+消費税、日券3000+消費税。18歳以下は無料
- 釣況問い合わせ 漁協ホームページ <http://www.aikis.or.jp/nakahechi/>
- 交通 京阪神方面からは阪和道を利用。終点の南紀田辺ICから田辺バイパス、国道42号を南下、上富田町の岩崎信号を左折し川沿いを進む。もしくは田辺バイパスの天王池交差点を左折、県道35号で深見橋東の交差点に出てよい

凡例

- Ⓜ オトリ店
- 🅓 駐車スペース
- ★ 入川口、入川道
- 📷 撮影場所・方向
- 🚻 WC 公衆トイレ
- 📍 ガソリンスタンド
- 🏪 コンビニ

富田川のオトリ店
 古道の杜あんちゃん ☎ 0739-64-0929
 熊野水産 ☎ 0739-83-3303

富田川エリア③ ←富田川エリア② ←富田川エリア①



2 原の瀬橋 鮎川新橋

富田川の流域の中で、アユファンに人気があるポイントがもつと、も集中しているエリア。アユの数が非常に多く、底石は小さいが川幅があり全体がポイントといってもよき非常に釣りやすい。渇水期はチャラ瀬やトロ場に多くの群れアユが見られ、川岸に座り込んで静かに釣ると数が期待できる。釣果的にも富田川の中下流でも安定しており、休日には県外からの釣り客が多いこともあるが平日はけっこうのんびりしている。

滝尻にあるオトリ店「古道の杜 あんちゃん」から下流200mほどのところで土砂崩れの復旧工事が行なわれており、平日は工事の内容によって二ゴリが入ることがある。この二ゴリが入ると、工事現場から下流部にも好ポイントが点在しているが、この二ゴリの影響で底石に泥が被っている場所が多い。しかし逆にアユが付いている所は石が綺麗に磨かれているため、その差がはっきりしてポイントを見つけやすい。

石の大きさの割にはアユのサイズはよく、シーズン盛期には18〜22cmが元気な追いを見せてくれる。終盤になると26、27cmといった大型も掛かることがある。ポイント写真を撮影した9月25日も県外から来られたご夫婦が午前中に釣られた釣果のなかに、ひととき大きな26cmがまじっていた。



11 瀬と瀬が交互に連続する釣り場。瀬にアユがストックされている年は釣果が安定



12 群れアユが多く見られる。小石底でポイントが絞りにくく全面を泳がせてもらう



13 右岸に大きめの石が入っているが、あまり多くない。全体に小砂利底で群れアユが多い



14 ガソリンスタンドの前あたりから石が大きくなっている。天然遡上が多い年は好ポイントになる



9 全体に砂利底で群れアユが多い。右岸側は大石が入っている深トロで良型が掛かる



10 以前にくらべて川幅が狭くなったが底石が詰まっており人気ポイントのひとつ



5 緩やかに左にカーブする瀬がねらいめ。右岸側のほうが底石は大きい



4 川底は砂利が多いが、その中に大岩が点在している瀬。増水のたびに川相が変わる



1 原の瀬橋の下流、ガソリンスタンド前の瀬。チャラが人気



2 チャラから少し落差がある瀬のポイント。左にカーブする直前に大きめの石が入っている



3 大きめの石が入っており数釣り期待できる。増水後は左岸側にアユが残しやすい



6 以前は人気ポイントだったが工事の影響で不調。工事終了後の復活が楽しみな釣り場



7 橋の上下にある一本瀬。天然遡上が多い年は数釣り期待できる



8 吊り橋下流側の絞り込みの瀬。右岸側に大きめの石が入っている。瀬肩は群れアユが多い



15 古道の杜あんちゃん (オトリ)

滝尻王子のすぐ横にあるオトリ店でアユファンには馴染み深かった水本商店から引き継いだ。「あぶりあゆ」など地元の物産販売をしている。(☎ 0739-64-0929)

上富田町

田辺市

●清姫の墓所



「安珍清姫の物語」の清姫は中辺路町真砂が出身地とされ、清姫の墓と伝えられる石塔が建っている

●ふるさとセンター大塔



鮎川地区にある道の駅でレストランや物産館を営業。トイレ、駐車場は24時間利用可

至 生馬方面

至 合川、安川方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 近露方面

至 平瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

至 龍神村 柳瀬方面

富田川エリア③ ←富田川エリア② ←富田川エリア①



オ 熊野水産 (オトリ)

富田川最下流のオトリ店。国道42号から311号に入ってからすぐ。横の道を下ると沈下橋。
(☎ 0739-83-3303)

●富田川漁協

漁協の事務所は上富田消防署の対面にある

8

全体に変化が少ないト口場。ねらうなら右岸側の掘れ込んだ部分。群れアユが多い

9

⑧同様、変化が少ないト口場。後期に素掛けの人が多

6

全体に小石底の瀬。天然瀬上が多い年は好釣果が期待できる

7

⑥の瀬の瀬落ち部分。下流のト口場は毎年、落ちアユがよく溜まる

4

左岸側に消波ブロックが入っており、その周辺がねらいめ

5

④同様に左岸側がポイント。落ちアユが溜まりやすい

1

下流域では石が大きいポイント。増水のたびに川相が変化する

2

①同様に底石が比較的大きい。左岸寄りにはブロックが入っており好ポイント

3

河川敷まで車で下りられる。天然瀬上が多い年は好釣果が得られる

12

沈下橋の上流側は落ちアユが溜まりやすいところ。ところどころに砂底があるので注意

10

消防署裏のポイント。大雨ごとに川相が変化しやすい

13

ト口場から絞り込まれた瀬がポイント。撮影日は沈下橋のすぐ下にたくさんの群れアユを確認できた

11

生馬橋の下流側。瀬上が好調な年は多くのアユが溜まる

稲葉根王子

熊野参詣道中辺路にある神社で、滝尻王子と同じ九十九王子のひとつ。すぐ前が稲葉根の瀬

3 加茂の瀬～生馬

上富田町の町中を流れる下流エリア。全体に小石底、砂利底が多く平坦な流れが続く。このエリアは天然瀬上の有無、増減で釣果が大きく左右される。近年は瀬上時期の濁水による瀬切れで、多くのアユがこのエリアにまで遡ってこられない事態が続いているが、水量が豊富で瀬上が良好な年には川中アユだらけになるはず。

しかし富田川に通う釣り人の多くは良質のアユを求めて水温が低い上流でサオをだす場合が多く、下流域で釣りをする人は非常に少ない。とはいえ瀬上が好調だった数年前、釣り人は誰もいないポイントを見たと黄色いナワバリアユが確認でき、試しにオトリを送り出してみると入れ掛かり！半日で3ヶタに迫る釣果にありつけたのだった。ただし瀬上が不調の年はシーズン中盤までアユの姿がほとんど確認できないことがあるので注意してほしい。

アユシーズンも終盤の9月に入り増水すると上流域の放流アユがこの下流エリアまで降ってきて溜まり、好釣果が得られることもある。そのアユは上流で育った良型なので、終盤だけは下流域でサオをだす釣り人も多い。

トリムコースになっており車で走行可能。各所に駐車できる

